



高志の国・富山で語り合おう！ 地域の活力・未来・安心

～高い志と果敢な挑戦が創る日本の元気～

全国自治体政策研究交流会議・自治体学会 富山高岡大会

大会参加・情報交換会
宿泊・エクスカーション等のご案内

2014. 8/21 (木) ～8/23 (土)

第30回全国自治体政策研究交流会議富山高岡大会

会場／ウイング・ウイング高岡

主催／第30回全国自治体政策研究交流会議

富山高岡大会実行委員会

(富山県・高岡市・富山県市長会・富山県町村会)

第28回自治体学会富山高岡大会

会場／ウイング・ウイング高岡

主催／自治体学会

高志の国・富山で語り合おう！地域の活力・未来・安心 ～高い志と果敢な挑戦が創る日本の元気～

第30回全国自治体政策研究交流会議富山高岡大会

》ごあいさつ

自治体学会の会員の皆様をはじめ、全国から多くの方々をお迎えし、富山高岡大会を開催できることを、心から喜ばしく感じております。

さて、日本経済は明るさを取り戻しつつあります。一方で、原材料価格の上昇やエネルギーコストの上昇等により、地域経済は予断を許さない状況が続いています。さらに、人口減少・少子高齢化の影響は、地方における若年人口の減少などを通じて地域経済の活力を奪い、大都市への人口流出に拍車をかけるのではないかと懸念されており、地域社会のみならず、日本全体の大きな課題となっています。

こうしたなか、地方自治や地域づくりに携わる方々が、本県の高岡市に集まり、「高志の国・富山で語り合おう！地域の活力・未来・安心～高い志と果敢な挑戦が創る日本の元気～」を統一テーマに、人口減少・少子高齢化をはじめ、地方を取り巻く様々な問題について忌憚なく語り合っていただきたいと思っております。そして、その成果をそれぞれが持ち帰り実践することにより、地域の再興、ひいては日本の再興につながることを大いに期待しています。

また、県外からお越しになる皆様には、この機会に高岡市、そして富山県の美しく豊かな自然、多彩な歴史・文化、新鮮な海・山の幸など魅力の数々を大いに堪能していただきたいと思っております。この大会が皆様にとって実り多く心に残る素晴らしいものになることを祈念しております。

皆様のご来県を心よりお待ちしております。

第30回全国自治体政策研究交流会議富山高岡大会実行委員会委員長
(富山県知事政策局長) 日吉 敏幸

第28回自治体学会富山高岡大会

》ごあいさつ—地域の問題を持ち寄り、問いかけよう！

地域の問題は深刻になるばかりです。

経済成長が続いた時代には、拡大するパイの力で地域社会の問題解決を目指してきたといえるでしょう。「お金さえあれば人に頼らなくてもやっつけていける」。そんな時代は終わりました。

これからは地域で真剣に話し合い、皆で力を合わせて、深刻になっていく地域社会の問題に立ち向かっていくほかありません。苦労はあっても、そこには助け合う真の豊かさと毅然とした自治の生きざまがあります。自治の力が問われる時代です。自治に生きようとする私たち自治体学会が真価を発揮する時代を迎えたのです。

自治体学会は、地域問題解決のための研鑽と交流の場です。自治体学会は広い分野で第一級の専門家が集まっています。地域社会の問題解決を実践してきた方が多くいます。自治体現場での問題解決の力になりたいと考えて手弁当で参加しているのです。

地域社会の問題解決が自治体の使命です。その使命を果たすことは容易ではありません。しかし、地域の問題を持って自治体学会に参加すると、道は開けます。勇気を奮って地域の問題を問いかけ、投げかけてほしいのです。

解決できない問題はありません。大切なことは、問題を正しく認識して、解決のための政策を立て、熱意をもって、できるまでやり抜く執念を貫くことです。自治・まちづくりの実務家、研究者、専門家をネットワークする自治体学会は地域問題に挑戦する支えです。

「高い志と果敢な挑戦」が自治体学会富山高岡大会のテーマです。自治体現場は問題山積です。しかし、問題解決が使命だとするならば、その問題1つ1つがチャンスです。チャンスが山のようにあるのが自治体現場であるととらえることができます。地域問題に高い志で、果敢に挑戦する勇気が湧いてくる自治体学会富山高岡大会です。

自治体学会 代表運営委員

廣瀬 克哉 中島 興世 西村 幸夫

開催概要

【第30回全国自治体政策研究交流会議富山高岡大会】

日程	内容	会場	備考
8月21日 (木)	11:45 受付開始 13:00 開会あいさつ 13:05 基調講演 「人が輝く『元気とやま』の創造～高志の国・富山の挑戦～」 石井 隆一 富山県知事 14:30 パネルディスカッション 「地域の歴史と伝統を未来につなぐまちづくり」 コーディネーター 西村 幸夫 東京大学先端科学技術研究センター所長・教授 自治体学会代表運営委員 パネリスト 高橋 正樹 高岡市長 西永 勝己 岐阜県高山市基盤整備部都市整備課長 能作 克治 株式会社能作代表取締役社長 宗田 好史 京都府立大学生命環境学部環境デザイン学科教授 16:10 自治体学会あいさつ 16:20 次期開催地あいさつ 16:25 閉会あいさつ 16:30 閉会	ウイング・ウイング高岡 4階ホール (高岡市末広町1番7号) Tel.0766-20-1800 JR高岡駅古城公園口から徒歩約1分	参加費 2,000円 ※富山県内 在勤・在住 者は無料
	18:00 情報交換会	ホテルニューオータニ高岡 4階鳳凰西中の間 (高岡市新横町1) Tel.0766-26-1111 JR高岡駅古城公園口から徒歩約5分	参加費 5,000円

※21日(木)の受付は、11時45分からウイング・ウイング高岡4階ホワイエで行います。

【第28回自治体学会富山高岡大会】

日程	内容	会場	備考
8月22日 (金)	9:10 自治体学会総会 (9:00開館)	ウイング・ウイング高岡 4階 ホール	
	9:30 受付開始 10:00 午前の分科会・研究発表セッション ～ ①市民発・議会経由の政策法務の可能性 12:00 ②自分の将来と自治体で働く意味を考える ③地元企画：北陸新幹線開業による地域・観光の振興について ④公募企画：人口減少時代の地域生き残り戦略 ～文化力向上と地域の元気！ ⑤公募企画：放置人工林・耕作放棄地・空き家 ～中山間地域の「お荷物」を未来の遺産に 研究発表セッションA (災害対策・地域再生) 研究発表セッションB (広域自治体の課題)	ウイング・ウイング高岡 (高岡市生涯学習センター) 4階 ホール 5階 研修室 501 5階 研修室 502 5階 研修室 503・創作工房 504 (高岡市男女平等推進センター) 6階 交流スペースA～C (県民カレッジ) 7階 研修室	参加費 (資料代) 【会員】 3,000円 【非会員】 6,000円
	13:15 午後の分科会・研究発表セッション ～ ⑥人口減少社会の自治体政策を考える 15:15 ～家族の変容と自治体福祉政策～ ⑦人口減少時代の集約型都市づくり ⑧原発と自治体 ～福島原発災害が職員と地域に問い続けているもの ⑨富山で地域の「困りごと」を考えよう ～課題解決を目指す地域円卓会議の実践 ⑩公募企画：改善運動による組織力の向上 ～楽しく、よくして、ほめられる組織マネジメントのススメ ⑪公募企画：本当に役に立つ広域自治体をつくる 研究発表セッションC (行政評価) 研究発表セッションD (施設のマネジメント・議会活動)	(県立志貴野高校) 7階 総合実践室	
	15:30 学会賞表彰式 16:00 閉会	ウイング・ウイング高岡 4階 ホール	
	10:00～16:00 ポスターセッション	ウイング・ウイング高岡 4階 ホワイエ	

※22日(金)の受付は、9時30分からウイング・ウイング高岡4階ホワイエで行います。

第 30 回全国自治体政策研究交流会議富山高岡大会

※8月21日（木）の受付は11時45分からウイング・ウイング高岡4階ホワイエで行います。資料等をお渡ししますので、必ず受付を行ってください。

◆ 基調講演 ◆ 8月21日（木） 13:05～14:15

講演者 石井 隆一 富山県知事

演 題 「人が輝く『元気とやま』の創造～高志の国・富山の挑戦～」

概 要

富山県では、県民の40年来の悲願である北陸新幹線がいよいよ来年春に開業します。

首都圏から北陸への輸送能力が増大し、所要時間も大幅に短縮される北陸新幹線の開業は、富山県にとって50年、100年に一度の絶好のチャンスです。世界の中で地盤沈下を続けてきた日本が再生・再興を目指してまさに立ち上がろうとしているタイミングとも重なっており、この機を逃さず、観光振興や産業・地域の活性化、企業誘致、定住・半定住の促進など、開業効果を最大限に高めるための取組みを、官民一体となって全力で進めています。

また、県民の皆さんが充実した人生を歩み、幸せを感じるためには、経済のみでなく、「心の元気」が大切であり、文化や教育の振興、子育て支援・少子化対策、人づくり、特に次代を担う若い人の真の人間力を育む教育の推進に積極的に取り組んできています。

新幹線開業は、大きなゴールであると同時に、新たなスタートだと考えています。これからも10年、20年後を見据え、県民が未来に夢や希望を持っていきいきと暮らせる元気な富山県づくりに努め、「新しい国づくり」の一翼、一端を担っていききたいと思えます。

地域の元気創造について、皆様と一緒に考えましょう。

○ 講演者のプロフィール

石井 隆一（いしい たかかず） 富山県知事

昭和20年富山県生まれ。東京大学法学部卒業。昭和44年自治省入省、静岡県総務部長、自治省財政局財政課長、地方分権推進委員会事務局次長、自治省大臣官房審議官（税務・財政担当）、自治省税務局長、総務省自治税務局長を経て、平成14年総務省消防庁長官。平成15年早稲田大学大学院客員教授、平成16年市町村職員中央研修所学長。平成16年に富山県知事初当選。現在3期目。

◆パネルディスカッション◆ 8月21日(木) 14:30~16:10

演 題 「地域の歴史と伝統を未来につなぐまちづくり」

概 要 人口減少・少子高齢化や経済のグローバル化など、我が国を取り巻く環境は著しく変化しています。加えて、来年春に北陸が新幹線開業によって新時代を迎えるように、それぞれの地域社会においても大きな変化が起こっています。

地域がこうした時代を生き抜き、新たな飛躍を遂げるためには、守るべきものは守りながら、変化にしっかりと対応していくことが求められます。

今回は、こうした変化の時代に、いわば生き残りをかけた地域づくりを推進する観点から、地域の歴史と伝統を活かした未来志向のまちづくりについて考えます。

○ パネリスト

高橋 正樹 (たかはし まさき) 高岡市長

昭和29年生まれ。昭和52年東京大学法学部卒業。同年自治省入省、総務省消防庁救急救助課長、自治省大臣官房文書課長、総務省情報通信政策局地域放送課長、総務省自治財政局財務調査課長を経て、平成14年新潟県副知事、中越地震の復旧・復興に携わる。平成18年総務省統計局統計調査部長、平成19年総務省大臣官房審議官(税務担当)、「ふるさと納税」制度の実現などに携わる。平成20年財団法人地域創造常務理事。平成21年に高岡市長に初当選。現在2期目。平成25年富山県市長会会長、同年全国市長会北信越支部長、平成26年全国市長会副会長

西永 勝己 (にしなが かつみ) 岐阜県高山市基盤整備部都市整備課長

昭和40年岐阜県高山市生まれ。愛知学院大学文学部卒。昭和63年高山市役所入庁、平成20年から文化財課長、平成25年から都市整備課長として勤務。現在、景観計画、歴史的風致維持向上計画、屋外広告物条例など景観保全関連業務に従事。

能作 克治 (のうさく かつじ) 株式会社能作代表取締役社長

昭和33年生まれ。昭和55年大阪芸術大学芸術学部写真科卒業。新聞社勤務を経て、株式会社能作入社。鋳物の製作現場で17年間修業を積んだのち、平成15年、4代目社長に就任。能作の鋳物製品は、錫100%の曲がる器など食器を中心とするテーブルウェアや照明、風鈴などのインテリア製品、更に仏具、茶道具などの伝統的商品と多岐に渡る。また、フランス・パリでの「メゾン・エ・オブジェ」やドイツ・フランクフルトでの「アンビエンテ」等、海外見本市への積極的な出展を行っている。

宗田 好史 (むねた よしふみ) 京都府立大学生命環境学部環境デザイン学科教授

昭和40年生まれ。法政大学工学部建築学科、同大学院を経て、イタリア・ピサ大学・ローマ大学大学院にて都市・地域計画学を専攻、歴史都市再生政策の研究で工学博士(京都大学)。国際連合地域開発センターを経て、平成5年より京都府立大学准教授、平成24年より同教授。国際記念物遺産会議(ICOMOS)国内委員会理事、京都市景観審査会委員、社会資本整備審議会専門委員。主な著書は『中心市街地の想像力ー暮らしの変化をとらえた再生への道』(学芸出版社)、『町家再生の論理ー創造的まちづくりへの方途』(学芸出版社)、『創造都市のための観光振興ー小さなビジネスを育てるまちづくり』(学芸出版社)など多数。

○ コーディネーター

西村 幸夫 (にしむら ゆきお) 東京大学先端科学技術研究センター所長・教授 ／自治体学会代表運営委員

昭和27年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、平成8年東京大学教授、平成20年東京大学先端科学技術研究センター教授、平成25年4月から現職。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画、市民主体のまちづくり論など。工学博士。日本イコモス国内委員会委員長、文化庁文化審議会委員、同世界遺産・無形文化遺産部会会長、国土交通省国土審議会委員など。主な著書に『西村幸夫 風景論ノート』(鹿島出版会)、『都市保全計画』(東大出版会)、『西村幸夫 都市論ノート』(鹿島出版会)、『環境保全と景観創造』(鹿島出版会)など。

第28回自治体学会 富山高岡大会 プログラム一覧

2014. 8. 22(金) / ウィング・ウィング高岡

大会統一テーマ **高志の国・富山で語り合おう!**

地域の活力・未来・安心
～高い志と果敢な挑戦が創る日本の元気～

<分科会 午前の部 (10:00~12:00) 午後の部 (13:15~15:15)>

午前 分科会 1 市民発・議会経由の政策法務の可能性

自治体議会改革が進むなかで、議会が、自治体の政策の品質を高めているのか、有効な政策決定を行っているか問われるべき段階に入っているが、行政による予算発案権の独占、執行権、法務スタッフの配置など、様々な課題がみられる。また、従来からあるツールによる議会における政策法務の可能性も検証したい。陳情や請願の審査が、市民による議会経由の自治体政策の変更の可能性ももっている。自治が発揮されるための議会の「立法」機能の可能性と課題を議論する。

●パネリスト

本川 祐治郎 (氷見市長)
高沖 秀宣 (三重県地方自治研究センター上席研究員)
鍮水 三千男 (元千葉県労働委員会事務局次長)
塩見 牧子 (生駒市議会議員)

●コーディネーター

長野 基 (首都大学東京都市環境学部准教授)

午前 分科会 2 自分の将来と自治体で働く意味を考える

自治体が担う業務の多様化、複雑化及び地方公務員数の減少等により、職員が果たすべき役割は増加している。その反面、一人当たりの業務負担増等により、職員は疲弊し、病休等が増加している現状は大きな課題である。本分科会は、若手職員を対象に、理想の職場とするための能力向上のあり方など、参加者相互の本音での対話の中から自治体で働く意味を再確認し、明日の仕事に向かえる場にする。

●話題提供

橋詰 清一郎 (芦屋市行政経営課)
日野 稔邦 (佐賀県統括本部県政策監グループ)
青山 崇 (多治見市企画部長)

●ファシリテーター

濱田 結惟・濱手 千悠
(氷見市市民参加と協働・防災のデザイン課)

午前 分科会 3 (地元企画) 北陸新幹線開業による地域・観光の振興について

来年春に開業予定の北陸新幹線開業に向けて、富山県が単なる通過県とならないために、知恵を絞っているところである。豊富な観光資源を生かしながら新幹線の開業を北陸並びに中部全体の活性化に向けての連携が必要となっている。

また、新幹線開業に伴う在来線の利用による地域交通の確保並びに経営課題についても考えていかなければならない。そこで、九州新幹線の事例も参考にしながら、北陸新幹線開業に向け、地域振興と観光施策の展開について議論する。

●パネリスト

飛世 隆一 (富山県知事政策局課長)
西岡 秀次 (富山商工会議所専務理事)
蒲田 幸雄 (高岡市観光協会専務理事)
川端 康夫 (黒部商工会議所会頭)
成尾 雅貴 (熊本県くまもとブランド推進課長)

●コーディネーター

九里 徳泰 (富山県立大学工学部教授)

午前 分科会 4 (公募企画1) 人口減少時代の地域生き残り戦略～文化力向上と地域の元気!

昭和30年代に始まった日本経済の高度成長は、急速な繁栄をもたらしたが、自然破壊も促進された。また、都市のスプロールにより、周辺の自然環境、農山村景観が壊されてきた。人口減少によって活気が失われた地域において「内発的発展」を基調としたエコツーリズムなどの地域主体の観光資源を活用した新しい観光形態が発展してくるようになった。人口減少時代の地域生き残りをかけて取り組まれている諸事例を通し、地域住民が誇りと愛着を持つ持続可能な地域づくりを考えていく。地域の元気を取り戻そう!

●パネリスト

宮永 優 (岡山県真庭市産業観光部長)
宮崎 一郎 (富山県経営支援課長)
白江 秋広
(となみ散居村ミュージアム館長)

●コーディネーター

進士 五十八 (東京農業大学名誉教授)

午前 分科会 5 (公募企画2) 放置人工林・耕作放棄地・空き家～中山間地域の「お荷物」を未来の資産に

高齢化・人口減少が進む中山間地域では、管理されない人工林、農地、家屋が取り残されています。一方、都市で生まれ育った若い世代で農山村に移住する人も増加してきました。空き家や耕作放棄地、人工林は彼らの生活を成り立たせるための重要な資産となりますが、利活用するためには様々な困難が伴います。そこで自治体もしくは集落による何らかの公的な関与が必要となります。西粟倉村と豊田市の先行事例に学びながら、自治体施策や住民活動の方向を探ります。

●パネリスト

高野 雅夫 (名古屋大学大学院教授)
上山 隆浩 (岡山県栗倉村産業観光課長)
鈴木 辰吉
(豊田市おいでん・さんそんセンター長)

●コーディネーター

神山 智美 (富山大学経済学部准教授)

午後 分科会 6 人口減少社会の自治体政策を考える～家族の変容と自治体福祉政策～

高齢化、人口減少は、自治体にとって避けることができない深刻な課題です。家族や地域のつながりの希薄化、社会での孤立などとともに、生活に困窮する人も増加しています。

社会保障政策の分野では「地域包括ケアシステム」の構築が叫ばれています。自治体における少子高齢化対策を概観し、自治体における取組・課題を把握しながら、家族の変容に着目して、社会保障政策のあり方を検討します。

- パネリスト
鏡 論 (淑徳大学コミュニティ政策学部教授)
池田 正志 (高岡市福祉保健部長)
久住 智治 (文京区男女協働子育て支援部長)
高橋 昌克 (釜石市地域医療担当部長)
- コーディネーター
小泉 秀樹 (東京大学大学院教授)

午後 分科会 7 人口減少時代の集約型都市づくり

人口減少と超高齢化、過度な自動車依存による公共交通の衰退、中心市街地の魅力喪失などの問題を背景として、集約型都市を目指す自治体の試みがみられる。国においても、都市再生の切り札のひとつとして集約型都市づくりを掲げ、生活圏の再構築を進めていくため支援制度を創設している。

人口減少時代の都市づくりの方策や課題を、事例報告を踏まえて議論する。

- パネリスト
京田 憲明 (富山市都市整備部長)
木谷 弘司 (金沢市都市整備局担当部長)
- コメンテーター
宮口 侗畑 (早稲田大学教育総合科学学術院教授)
- コーディネーター
後藤 春彦 (早稲田大学創造理工学部教授)

午後 分科会 8 原発と自治体～福島原発災害が職員と地域に問い続けているもの

東電福島第一原発事故の被害の全貌はまだわかっていない。そして、同事故に起因する厄災は、今も現在進行形である。

被災自治体の現状報告を踏まえ、その後の課題、避難の長期化と生活構築問題など、一段と自治体機能の本質にかかわってきた課題に焦点を当て、自治体と地域のありかたを考えたい。「二重の住民票」の制度提案についても、議論を深めたい。

- パネリスト
齊藤 紀明 (福島県富岡町副町長)
庄子 まゆみ (南相馬市教育委員会事務局参事)
今井 照 (福島大学行政政策学類教授)
- コーディネーター
松本 克夫 (ジャーナリスト)

午後 分科会 9 富山で地域の「困りごと」を考えよう～課題解決を目指す地域円卓会議の実践

地域課題や政策をめぐる対話や議論の重要性がいわれるが、実際に活かされているだろうか。話し合いのしつらえや工夫によって、その効果は変わりうる。課題の当事者や関係者の多様な視点で語り、その語りにオーディエンスをまきこむ「地域円卓会議」方式で、開催県・氷見市の「困りごと」＝「氷見の山という資源を共有し、エネルギーを地産地消する暮らしを広げたい」を話し合う。

- 円卓会議メンバー
伊東 翼 (トランジションタウン氷見主宰者) 他
- 司会
谷内 博史
(氷見市市民参加と協働・防災のデザイン課)
- ファシリテーショングラフィック
清水 万由子 (龍谷大学)

午後 分科会 10 (公募企画3) 改善運動による組織力の向上～楽しく、よくして、ほめられる組織マネジメントのススメ

全国各地の自治体に改善運動が広がり始めているが、庁内では一部職員の盛り上がりや留まっていたり、首長の交替により活動が途絶えるなど、発展、継続性が不安定な状態にある。

地域独自の政策開発や多様な主体との協働、業務の効率化などの課題解決に向け、職員が主体的に行う改善運動が重要な取組になるためには、首長のもと、行政経営システムの中うまく組み込んでマネジメントしていく必要がある。

本分科会では、事例分析をもとに、首長と職員の両視点から現状と課題、今後の展開方向について考察していく。

- パネリスト
田中 大輔 (中野区長)
小山 巧 (三重県南伊勢町長)
酒井 直人 (中野区広報担当副参事)
柳田 香 (さいたま市都市戦略本部
シティセールス部)
- コーディネーター
元吉 由紀子 (株式会社 スコラ・コンサルト 行政経営
デザインラボ代表)

午後 分科会 11 (公募企画4) 本当に役に立つ広域自治体をつくる

地方自治の力が問われる時代である。多様な地域課題に対し、基礎自治体によるきめ細やかな自治の積み重ねや、広域自治体による広域的な観点からの自治の展開等が求められている。しかし、一方で、大阪における大阪都構想議論、3つの政令市を抱える神奈川県不要論、東日本大震災の原発事故では住民避難の決断は市町村長が行うなど、広域自治体の存在意義を問う議論が起きている。本分科会では、「本当に役に立つ広域自治体とは、具体的にどのようなことか」に向かって、コミュニティ政策、都市内自治・市民活動、健康政策、危機管理等の各分野から、議論を提起する。

- パネリスト
林 秀明 (神奈川県総務局調整監)
清水 紀人 (かながわ国際交流財団主任専門員)
古賀 敬作 (大阪経済大学ビジネス法学科講師)
岡野内 俊子 (横浜国立大学大学院博士課程後期)
- コメンテーター
廣瀬 克哉 (法政大学法学部教授)
日野 稔邦 (佐賀県統括本部政策監グループ係長)
中嶋 いづみ (後藤・安田記念東京都市研究所企画調査室幹)
- コーディネーター
杉渕 武 (藤沢市防災専任研究員)

公募研究発表セッション

公募に応募された会員による第5回目となる「研究発表セッション」を行います。自治の諸課題に取り組む現場からの実践報告、大学院生・研究者らによる研究成果などを発表してもらい、会場の参加者と議論を深めます。

セッションA 災害対策・地域再生 <10:00~12:00>

A-1：地方公共団体の発する避難勧告の適法性

—佐用町集中豪雨事件を事例に（神戸地裁姫路支部判決平成25年4月24日）—

村中 洋介 近畿大学非常勤講師

A-2：環境首都水俣におけるガバナンスのあり方

岩橋 浩文 国立水俣病総合研究センター地域政策研究室長

A-3：震災復興関係職員の不足解消方策と課題

伊藤 哲也 宮城県総務部次長

セッションB 広域自治体の課題 <10:00~12:00>

B-1：国体開催における都道府県行政の政策的課題

井上 俊治 東京都下水道局副参事

石井 敦子 和歌山県立医科大学講師

B-2：大学と広域自治体の協働による地域経営 ～包括連携協定等の現況～

津久井 稲緒 神奈川県政策局政策研究・大学連携センター特任研究員

B-3：広域自治体の政策形成—政策としてのレギュラトリーサイエンス推進の意義

岡野内 俊子 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期

岡野内 徳弥 横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期

セッションC 行政評価 <13:15~15:15>

C-1：地方自治体におけるアーカイブズ制度の点検と評価のポイントに関する考察

清水 恵枝 自治体学会会員

C-2：市民から見た総合計画の必要性

田中 富雄 龍谷大学大学院政策学研究科博士後期課程、三郷市企画総務部長

C-3：ICT利活用を目的とした補助金等支援事業の継続状況に関する比較考察

萩行 さとみ 公益財団法人未来工学研究所客員研究員、早稲田大学大学院招聘研究員

セッションD 施設のマネジメント・議会活動 <13:15~15:15>

D-1：自治体による公立病院のマネジメントについて

高橋 啓 金沢学院大学経営情報学部教授

D-2：地方議会議員の活動評価法の確立 —議会質問検証会の試行を基にして—

本田 正美 東京大学大学院情報学環交流研究員

ポスターセッション (10:00~16:00)

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

12:00~13:15をコアタイムとして、参加内容の紹介を行います。

< 学会賞表彰式

(15:30~16:00)>

自治体学会事務局からのお知らせ

<p>◆11月22日(金)の参加者受付について</p> <ul style="list-style-type: none"> 受付場所:ウイング・ウイング高岡の4階ホワイエで行います。 受付時間:9時30分からになります。午後の分科会のみに参加される場合でも、必ず、4階ホワイエで受付を済ませてください。 	<p>◆自治体学会総会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体学会の総会は9時10分からウイング・ウイング高岡の4階ホールで行います。 総会に出席される学会員の方は、9時10分までに直接「同ホール」にお越しください。なお、ウイング・ウイング高岡の開館時間は9時00分です。 総会終了後、受付を済ませてからそれぞれの分科会会場へお入りください。 	<p>◆分科会・研究発表等会場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ウイング・ウイング高岡内には、高岡市生涯学習センター、高岡市男女平等推進センター、県民カレッジ、県立志貴野高校の施設があります。 分科会、研究発表等の会場一覧表は当日受付で配布いたします。 	<p>◆昼食会場について</p> <ul style="list-style-type: none"> 高岡駅周辺に飲食店はありますが、混雑等も予想されますので、昼食を持参するか、弁当の予約をお勧めします。 弁当は、研修室501等でおとりいただくことが出来ます。(ホールは不可)
--	---	---	---

第30回全国自治体政策研究交流会議・第28回自治体学会 富山高岡大会 大会参加・宿泊・情報交換会等 お申し込みのご案内

宿泊の取扱いは、㈱JTB中部富山支店が旅行企画・実施する「募集型企画旅行」です。

1. 宿泊のご案内

- ◆宿泊期間 平成26年8月20日(水)～8月22日(金)
- ◆旅行代金(宿泊料金) お一人様当たり1泊朝食付、税金・サービス料込
- ◆申込記号 申込書へ必ずご記入ください。

宿泊ホテル名	申込記号	宿泊料金(御一人様当たり)	
ホテルニューオータニ高岡 (ウイングウイング高岡から徒歩5分) 高岡市新横町1 Tel0766-26-1111	1-S	シングル	10,500円
	1-T	ツイン (2名1室)	9,000円
高岡マンテンホテル駅前 (ウイングウイング高岡から徒歩1分) 高岡市末広町1-8 Tel0766-27-0100	2-S	シングル	8,000円
ホテルアルファワン高岡駅前	3-S	シングル	6,500円
ホテルアルファワン高岡	4-S	シングル	6,500円

※ご予約は、お申し込み順とさせていただきますが、部屋数の関係でご希望通りにならない場合は、他のホテルへご案内させていただきますので、あらかじめご了承ください。

※宿泊ホテル名は第二希望までご記入いただき、交通手段もご記入ください。

高岡市内概略図



2. 情報交換会のご案内

- ◆日時 8月21日(木)18:00～19:30
- ◆場所 ホテルニューオータニ高岡
4階鳳凰西中の間(高岡市新横町1)
- ◆料金 5,000円

3. 昼食(弁当)のご案内

- ◆日時 8月22日(金)11:30～13:00
- ◆内容 富山の食材を使った幕の内弁当
- ◆料金 1,000円(お茶付 税込)

全国自治体政策研究交流会議・自治体学会 富山高岡大会 エクスカージョンのご案内

ご案内エクスカージョンは下記の5コースです。

	コース名	募集人員	最少催行人員	旅行代金 (おとなお一人様)
A	おわら風の盆前夜祭 伝統文化と融合したまちづくり	40名	25名	7,500円
B	地域資源を再活用した新庁舎 氷見と 歴史とものづくりのまち高岡	40名	25名	8,500円
C	五箇山合掌造り集落と 地域の特産を活かしたまちづくり	40名	25名	8,800円
D	「コンパクトシティ」 2次交通を活かしたまちづくり	40名	25名	7,500円
E	北陸新幹線開業へ向けた温泉街と景勝 地を活かしたまちづくり	40名	25名	11,000円

- ◆Aコースのみ8月22日(金)17時30分にJR高岡駅を出発いたします。
- ◆B～Eコースは8月23日(土)日帰りです。解散は8月23日の午後、各コースの最寄り駅となります。
(お帰りの切符をご購入の際には、乗車駅/出発時間にご注意願います)
- ◆最少催行人員に満たない場合は、中止させていただきますので、あらかじめご承知願います。
- ◆受付はお申し込み順とさせていただきますので、お早めにお申込みください。
- ◆希望コースは、第2希望までご記入ください。
- ◆各コースとも添乗員が同行いたします。
- ◆視察研修の内容については、都合により変更となる場合がございます。

エクスカージョン各コースの詳細






- ◆視察先でも、自治体職員、NPOの職員、地元の方々が見どころを説明いたします。
- ◆様々な形で、地元の方々と地域づくりに関する意見交換をすることができます。
- ◆一般の訪問では体験することができない催しを組み込んでいます。

※日程表の観光箇所 ◎ は下車して観光します。

※記入例/ 貸切バス  船  徒歩 

A : おわら風の盆前夜祭 伝統文化と融合したまちづくり

おわら風の盆は、毎年9月1日から3日にかけて行われる富山県を代表する祭りです。哀切感のある三味線や胡弓の音色に合わせて、編み笠姿の優雅な女踊りと勇壮な男踊りに魅了され、人口2万人の町に全国から20万人以上の見物客が訪れます。このコースでは、8月20日から開催される、おわら風の盆前夜祭に参加し、風の盆の紹介や優美な踊りの観賞を通じて、伝統文化や祭りに根付いた町の取組を視察いただきます。

月 日	日 程
8/22 (金)	高岡駅南口  (夕食: 車中弁当)  ◎八尾曳山展示館(おわら風の盆 前夜祭)  17:30  ◎福島地区(踊り見学等)  高岡駅 21:45

※食事条件は夕1回です。(車中弁当)

B : 地域資源を再活用した新庁舎 氷見と歴史とものづくりのまち高岡

廃校の体育館をリノベーションして建設費圧縮に成功し、ワンフロアでのワンストップ対応市民窓口を実現している氷見市庁舎の「市民との対話空間」見学ツアーや、藤子不二雄Aワールドでまちおこしに取り組む比美町商店街を見学いただきます。その後、歴史都市高岡で、伽藍が美しい国宝瑞龍寺、鋳物・銅器と伝統的な町屋が一体で趣ある風情をみせる金屋町などをご覧いただき、各々の街の特徴を活かした取り組みを感じていただきます。

月 日	日 程
8/23 (土)	高岡駅 8:00 ——— ◎氷見市庁舎 ——— ◎比美町商店街(藤子不二雄Aワールド) ——— ◎氷見番屋街(昼食) ——— ◎国宝瑞龍寺 ——— ◎山町筋 ——— ◎金屋町 等 ——— 富山駅 (重要伝統的建造物群保存地区) 16:30頃

※食事条件は昼1回です。

C : 五箇山合掌造り集落と地域の特産を活かしたまちづくり

23棟の合掌造り家屋が現存し、昔ながらの生活が今も息づく「世界遺産 五箇山合掌造り集落」にて生活と文化が融合した地域づくりを視察いただきます。また、特産品のそばを活用し、日本初のそば資料館である利賀 そばの郷や、伝統ある「いなみ彫刻」の町 井波など、特産を活かした地域の取り組みを視察いただきます。

月 日	日 程
8/23 (土)	高岡駅 8:30 ——— ◎五箇山合掌造り集落 ——— ◎そばの郷 ——— ◎庄川温泉(昼食) ——— ◎いなみ木彫りの里創遊館・瑞泉寺 ——— 富山駅 16:30頃

※食事条件は昼1回です。

D : 「コンパクトシティ」2次交通を活かしたまちづくり

次世代型路面電車「ライトレール」の導入により「コンパクトシティ」化を実現した富山市内を視察します。北前船の寄港地として栄えた岩瀬にて国指定重要文化財「森家」を見学後、ライトレールに乗りいただきます。名物「ますのすし」の昼食後は、薬都 富山を代表する薬「越中反魂丹」の老舗池田屋安兵衛商店や、富山県ゆかりの文学を発信する高志の国文学館を見学いただきます。

月 日	日 程
8/23 (土)	高岡駅 9:00 ——— ◎岩瀬の町並み(森家他) --- 岩瀬浜 +++ (ライトレール) +++ 富山駅 ——— ◎ますのすしミュージアム(昼食) ——— ◎池田屋安兵衛商店 ——— ◎高志の国文学館 ——— 富山駅 15:00頃

※食事条件は昼1回です。

E : 北陸新幹線開業へ向けた温泉街と景勝地を活かしたまちづくり

北陸新幹線の新駅「黒部宇奈月温泉駅」の開業に向けた黒部市の観光拠点を視察いただきます。片道1時間20分の、大自然を満喫するトロッコ電車に乗って秘境ムード満点のスポットを見学いただいた後、黒部峡谷の玄関口に位置する富山県随一の温泉地 宇奈月温泉を視察いただき、北陸新幹線開業に向けた観光振興への取り組みを紹介いただきます。

月 日	日 程
8/23 (土)	高岡駅 8:00 ——— 宇奈月温泉 +++ (トロッコ列車) +++ ◎樺平(昼食) +++ 宇奈月温泉 --- ◎宇奈月温泉街 ——— 富山駅 16:00頃

※食事条件は昼1回です。

■旅行条件の要約

お申し込みの際には必ず旅行条件書(全文)をお申し込み過程で画面表示にて事前に内容をご確認の上、お申し込みください。

1. 募集型企画旅行契約

この旅行は(株)JTB中部(名古屋市中村区名駅 1-1-4 観光庁長官登録旅行業第 1762 号。以下「当社」という)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

2. 旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、お申し込みください。
- (2) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領したときに成立するものとします。

3. 旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前(もしくは当社が指定する期日までに)にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

4. 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、各箇所記載の金額を取消料として申し受けます。

5. 旅行代金に含まれるもの

各旅行日程およびご案内に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代、及び消費税等諸税 これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。(コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。)

6. 特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- ・ 死亡補償金：1500万円
- ・ 入院見舞金：2～20万円
- ・ 通院見舞金：1～5万円
- ・ 携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円(但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。)

身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取したときに急激に生ずる中毒書状(継続的に吸入、吸収又は摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。)を含みます。

ただし、細菌性食物中毒は含みません。＜免責事項＞

7. 「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと(以下「通信契約」といいます。)を条件にお申し込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき(e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき)とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。)
- (3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

8. 国内旅行保険への加入について

旅行先において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で十分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

9. 事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

10. 個人情報の取扱について

当社は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会運営に伴い大会主催事務局へ情報を提出し利用させていただきます。

11. 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2014年6月1日を基準としています。又、旅行代金は2014年6月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

お申し込み・お支払方法

- ①別紙申込書に必要事項をご記入の上、JTB 中部富山支店までメール、FAX 又は郵送にてお申込みください。(※FAX での申込の場合は、弊社営業時間内に着信確認のお電話をお願いします)
- ②間違いを防ぐために、電話でのお申込みは受付できませんので、予めご了承ください。
- ③8 月初旬に「各種参加券」・「宿泊予約確認書」「請求書」を代表者様に一括してお送りいたします。
- ④お送りしました書類の内容をご確認後、8 月 15 日(金)までに指定口座へお振込みください。
- ⑤振込手数料は各自ご負担いただきますようお願い申し上げます。
- ⑥変更及び取消される場合は、申込書に加筆し、お早めに FAX 又は郵送にてご連絡ください。
- ⑦差額及び変更による追加・返金は、大会終了後の精算とさせていただきます。

お申し込み締切日

2014年8月4日(月)

※満席になり次第、締め切らせていただきます。

変更・取消について

大幅に変更になる場合はその都度ご連絡ください。

◆宿泊人員の変更について

宿泊日前日までの変更は、申込書に変更事項を加筆の上、「JTB中部富山支店」宛にFAXをしてください。
※宿泊日当日は、直接ホテルへご連絡をお願いします。

◆情報交換会の変更・追加について

ご連絡がない場合は、当初の申込人数でお受けします。

<エクスカーション取消料は以下の通りです>

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料(お1人様)
旅行開始日の 前日から起算して さかのぼって	1. 21 日前にあたる日以前の解除	無料
	2. 8 日前にあたる日以降の解除(3~6を除く)	旅行代金の 20%
	3. 2 日前にあたる日以降の解除(4~6を除く)	旅行代金の 30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の 40%
	5. 当日の解除(6を除く)	旅行代金の 50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

<宿泊プランの取消料は以下の通りです>

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料(お1人様)
旅行開始日の 前日から起算して さかのぼって	1. 6 日前にあたる日以前の解除	無料
	2. 5 日前にあたる日以降の解除(3~6を除く)	旅行代金の 20%
	3. 3 日前にあたる日以降の解除(4~6を除く)	旅行代金の 30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の 40%
	5. 当日の解除(6を除く)	旅行代金の 50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

<情報交換会参加費・自治体学会参加費(資料代)の取消料は以下の通りです>

手配先との取り決めにより、以下の取消料を適用させていただきます。

8月15日(金)以降の取り消しによる返金はできません。

株式会社JTB中部 富山支店 担当:窪・恒川
「全国自治体政策研究交流会議・自治体学会 受付係」

〒930-0003 富山市桜町 1-1-36 富山地鉄ビル 1 階

TEL:076-431-7581 FAX:076-444-0679

Eメール toyama-taikai1@cub.jtb.jp

営業時間 平日/9:30~17:30(土曜・日曜・祝日休業)

総合旅行業務取扱管理者 鈴木 武雄

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。

ご旅行の契約に関し担当者からの説明に不明の点がありましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

旅行企画・実施

株式会社 **JTB中部**

〒450-6111 名古屋市中村区名駅 1-1-4

観光庁長官登録旅行業 1762 号

日本旅行業協会正会員・旅行業公正取引協議会会員

J T B 中 部 富 山 支 店 窪 ・ 恒 川 行

F A X : 0 7 6 - 4 4 4 - 0 6 7 9

第 30 回 全 国 自 治 体 政 策 研 究 交 流 会 議 ・ 第 28 回 自 治 体 学 会 富 山 高 岡 大 会

大 会 参 加 ・ 宿 泊 ・ 情 報 交 換 会 等

変 更 ・ 取 消 届 け

都道府県		所属団体名		フリガナ	
				申込代表者名	
TEL	()	-	FAX	()	-

※下記の通り、変更・取消いたします。

参加者氏名	変更・取消内容	
	変更前	変更後
1		
2		
3		
4		
5		

※変更・取消が生じた場合は、変更内容を正確にご記入後、J T B 中 部 富 山 支 店 までお送りください。

※F A X の 到 着 が 下 記 「 受 付 係 」 の 営 業 時 間 外 、 休 業 日 の 場 合 は 翌 営 業 日 の 受 付 扱 い と さ せ て い た だ きます。

※下記「受付係」へ連絡の無い変更・取消については一切返金できませんのでご了承ください。

※変更・取消による精算は大会終了後に行います。

【お問合せ先】

株式会社 J T B 中 部 富 山 支 店

「第 30 回 全 国 自 治 体 政 策 研 究 交 流 会 議 ・ 第 28 回 自 治 体 学 会 富 山 高 岡 大 会」 係

〒930-0003 富山市桜町一丁目 1-36 富山地鉄ビル 1 階

TEL : 076-431-7581 FAX : 076-444-0679 E-mail : toyama-taikai1@cub.jtb.jp

営業時間 : 9:30~17:30 (土曜・日曜・祝日休業)



高志の国・富山で語り合おう！
地域の活力・未来・安心

～高い志と果敢な挑戦が創る日本の元気～

第30回全国自治体政策研究交流会議富山高岡大会実行委員会事務局

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号
富山県知事政策局 TEL:076-444-9608 FAX:076-444-3473

自治体学会事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-1 一般社団法人コマンドN 2階
TEL&FAX:03-5577-3187